

# GMO

## Corporate Vision 2011

2011年12月期 第2四半期決算報告

2011年1月1日 ▶ 2011年6月30日

### GMOインターネット株式会社

証券コード:9449



同封の  
株主優待の  
ご案内も  
見てね!

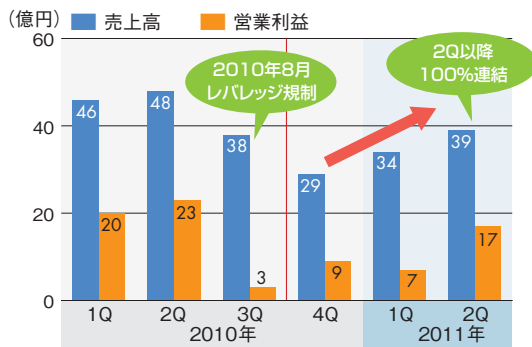
#### NEWS HEADLINE

### インターネット証券事業の躍進に注目！ 株式売買高シェアも急上昇中。

8月8日に発表されたGMOインターネットの第2四半期連結決算では、前第4四半期から開始したインターネット証券事業の好調が注目されている。売上高で73億円、営業利益では22億円の寄与となり、全体の増収増益を力強く支えた。

すでにFX（外国為替証拠金）取引高では市場シェア1位の座を占め、今年5月度・6月度には株式売買高シェアもネット証券大手6社中3位にまで躍進。子会社GMOクリック証券（株）の業績は、昨年8月のレバレッジ規制による影響を受け、一時落ち込むも右肩上がりを維持している。株式売買高シェアの拡大は注力テーマであり、TVCMや交通広告による積極的なプロモーションを展開中。ランキング3位への躍進は、その認知度向上による効果も大きい。

GMOインターネットは現在、成長分野であるソーシャル・スマートフォン関連事業に経営資源を重点配分している。その動きの中でインターネット証券事業は、潤沢なキャッシュを供給する役割を果たしていると思われる。



※GMOクリック証券株決算短信より

### ソーシャルアプリは収益貢献へ。 「Gゲー」は国内最大規模のマーケットに。

成長分野では、「ソーシャルアプリ」「スマートフォンゲームプラットフォーム」「共同購入型クーポン」の3つを展開するソーシャル・スマートフォン関連事業の進展が著しい。ソーシャルアプリ開発支援プロジェクト「アプリやるっぜ！」

by GMO」は、ヒットタイトルによる好調を維持し、4月には月次売上クロス2億円を突破。8月には投資を回収する見込みで、引き続き年内に新作10〜12本を投入していく。

Android端末向けゲームプラットフォーム「Gゲー」は、7月末時点でメーカー34社・163タイトルを集めた国内最大規模のマーケットに成長。会員数目標として掲げる年内100万ID獲得も時間の問題だろう。8月にはサムスン電子(株)との業務提携を締結し、同社製Android端末が搭載するプラットフォーム「Game Hub」からのゲーム配信を10月に開始する。

共同購入型クーポンサイト「くまポン by GMO」は、月次売上が1億円に迫る勢いで急増中。最後発ながら、7月現在のクーポンサイト販売実績ランキングでは4位まで上昇した。

下半期以降、ソーシャル・スマートフォン関連事業の成長への手応えは、より確実なものとなっていくだろう。

#### 「くまポン」CMをWEBでチェック!



TV放映された「くまポン」のCMシリーズはWEBサイトでご覧いただけます。おトクな魅力をアピールするユニークなキャラクターと歌が話題となっています。

くまポンCM



Android端末向けゲームプラットフォーム「Gゲー」

Gゲー

# インフラ、メディアなどの既存事業の収益力を一層強化しつつ、グループのリソースを成長分野に集中投入していきます。



代表取締役会長 兼 社長  
グループ代表

山田 昌久

## 成長投資を実施しながらも大幅増益

当第2四半期累計期間の連結業績は、WEBインフラ・EC事業の好調と、前第4四半期から連結となったインターネット証券事業の寄与により、売上・利益ともに順調な拡大を遂げることができました。特に利益面では、新規事業である「Gゲー」「くまポン by GOMO」に対して8.4億円の成長投資を実施しながらも、40億円(前年同期比56.1%増)の営業利益を創出しています。

WEBインフラ・EC事業は、引き続き低価格戦略が奏功し、ドメインの登録・更新数を大幅に伸ばした他、5大商材すべてにおいて売上を拡大しています。さらに新たな動きとして、今年7月にドメイン・ウェアホスティングサービス

## 独自の成長投資モデルによる事業育成

一方、当社グループはソーシャル・スマートフォン関連事業として展開する「ソーシャルアプリ」「スマートフォンゲームプラットフォーム(Gゲー)」「共同購入型クーポン(くまポン)」に、「EC集客支援」「新ドメイン申請」を加えた5大テーマによる成長戦略を推進しています。

このうち、ソーシャルアプリ事業は先行投資フェイズから収益貢献フェイズに移行しており、現在は「Gゲー」と「くまポン」に経営資源を集中投入しています。

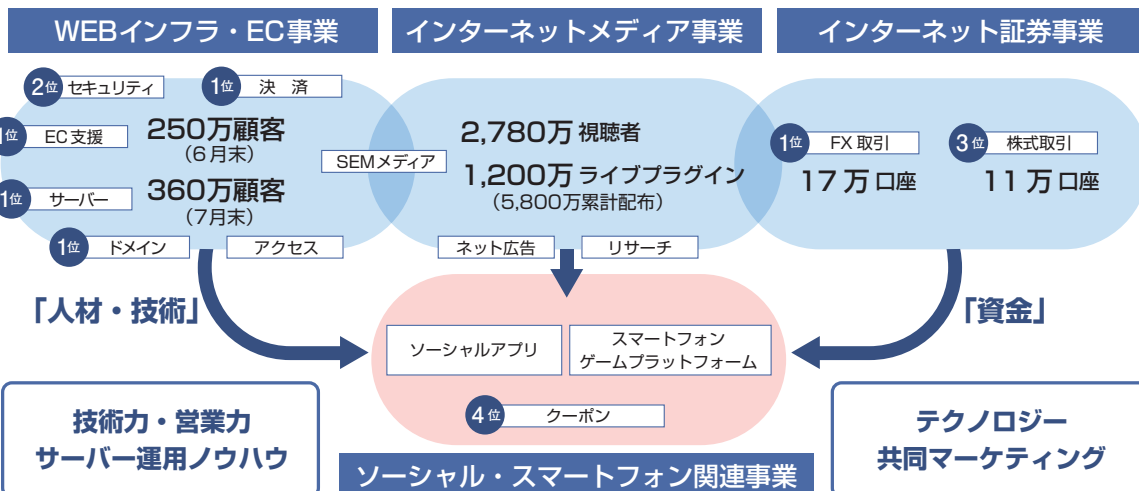
当社グループは、成長分野に人材・技術・資金を再投資するサイクルを確立しています。そして、WEBインフラ・EC事業による安定したストック収益、インターネットメディア事業による集客力、インターネット証券事業によるキャッシュを成長分野に集中し、さらなるキャッシュを生む事業として育成していきます。これは世界にも類を見ない、総合インターネット

## 下半期の各四半期末配当を増額

グループならではの独自モデルであると自負しています。

下半期は、既存事業の収益力を一層強化しつつ、成長分野への積極的な投資を継続してまいります。通期の連結業績については、売上高570億円、営業利益70億円、経常利益68億円、当期純利益37億円を見込んでいます。

なお、下半期の配当につきましても、第3四半期末配当および期末配当をそれぞれ1株当たり2円の従来予想から、同3円に増額させていただく考えであります。これにより当期の連結配当性向は31.8%となる予定です。



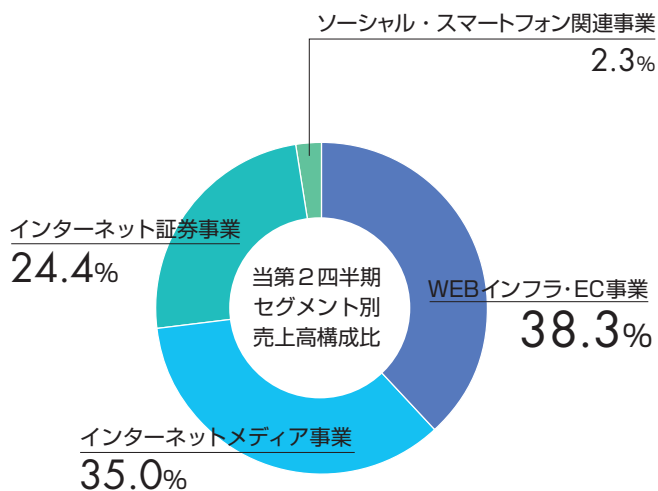
ご期待いただき、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▼第2四半期決算のポイント

- インフラ、メディアなどの事業セグメントの好調により、通期計画に対して順調に進捗
- インターネット証券事業が売上・利益ともに大きく寄与
- ソーシャル・スマートフォン関連事業の成長に手応え
- 下半期からの四半期末配当を当初予定より各1円増額

当第2四半期	
売上高	営業利益
↑ 29,515 百万円 (前年同期比 44.3% 増)	↑ 4,003 百万円 (前年同期比 56.1% 増)

通期予想	
売上高	営業利益
↑ 57,000 百万円 (前期比 28.1% 増)	↑ 7,000 百万円 (前期比 22.2% 増)



※売上高構成比は、セグメント間消去前の数値により計算しております。

▼セグメント別の概況

WEBインフラ・EC事業の概況

売上高 11,567 百万円 (前年同期比 17.2% 増)	営業利益 1,669 百万円 (前年同期比 14.4% 増)
-----------------------------------	-----------------------------------

損益の変動要因

更新需要の堅調な推移と低価格戦略の奏功により拡大したドメイン取得事業をはじめ、5大商材のすべてで増収となりました。

当四半期のポイント

- ドメイン登録数は280万件、国内gTLDシェアは71.8%へ拡大
- ソーシャルアプリ向け「GMOアプリクラウド」は、300を超えるタイトルで採用
- 包括的クラウドソリューション「IQCloud」「GMOクラウドPublic」の提供を開始

インターネットメディア事業の概況

売上高 10,574 百万円 (前年同期比 0.9% 増)	営業利益 815 百万円 (前年同期比 22.9% 減)
----------------------------------	---------------------------------

損益の変動要因

増収を維持するも、震災の影響を受けてSEMメディアの販売が減少したことなどから、営業利益は減益となりました。

当四半期のポイント

- インターネット広告市場は拡大傾向ながら、震災の影響でSEMメディアが低迷
- 広告代理事業ではモバイル広告が好調に推移し、増収に寄与
- スマートフォン向けにアドネットワーク「ADResult for Smartphone」を販売

インターネット証券事業の概況

売上高 7,392 百万円	営業利益 2,231 百万円
---------------	----------------

※前第4四半期より新たなセグメントとしたため、前年同期比較はありません。

当四半期のポイント

- 昨年8月のレバレッジ規制で一時落ち込んだ後は、再び右肩上がり成長中
- TVCMなど積極的なプロモーション展開が奏功し、株式売買高シェアも急上昇

ソーシャル・スマートフォン関連事業の概況

売上高 694 百万円	営業損失 693 百万円
-------------	--------------

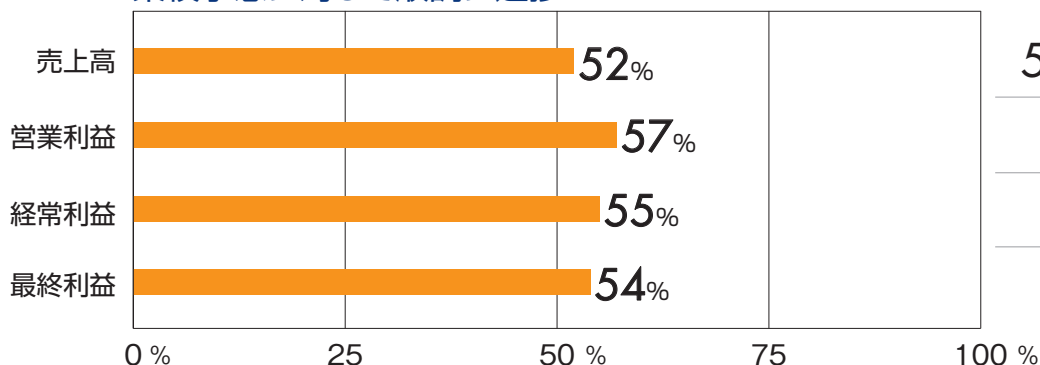
※当第1四半期より新たなセグメントとしたため、前年同期比較はありません。

当四半期のポイント

- ソーシャルアプリは「ガドランマスター」などのヒットで月次売上2億円を突破
- 「Gゲー」は会員ID数100万に向けて拡大中、160タイトルを超える大型市場に成長

▼業績予想に対する進捗率

業績予想に対して順調に進捗



	通期予想	上半期業績
売上高	570.0	295.1
営業利益	70.0	40.0
経常利益	68.0	37.5
最終利益	37.0	19.8

(単位: 億円)

# 株主様向けインフォメーション

## ● 配当予想を増額修正しました

2011年8月8日開催の取締役会において、当期の1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしました。なお、今回の第2四半期末配当は1株当たり2円を実施させていただきました。

1株当たり配当金					配当性向 (予想)
第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末 (予想)	期末 (予想)	合計 (予想)	
2円00銭	2円00銭	3円00銭	3円00銭	10円00銭	31.8%

1円増配

1円増配

2円増配

### 修正の概要

当社は株主の皆様への利益還元をより明確にするために、配当性向の目標を「連結当期純利益の33%を目標とし、業績及び財務体質の状況等を総合的に勘案し決定」とする配当政策の基本方針を採用いたしております。

上記の基本方針に従い、当期(2011年12月期)の業績の進捗等を総合的に勘案した結果、1株当たりの年間配当金につきまして、従来予想を8円00銭から10円00銭と2円00銭の増配(四半期ごとの内訳は第3四半期末及び第4四半期末、それぞれ2円00銭から3円00銭と1円00銭の増配)とすることといたしました。これにより配当性向は31.8%となります。

## ● 株主優待制度

### 実施対象者

毎年6、12月末日の株主名簿・実質株主名簿に記載された1単元以上所有の株主様に対し、優待IDを郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月下旬)。

### 株主優待の内容

下記①～④の内容すべてを併用いただけます。すべてご利用いただくと**12,000円相当**と、大変お得な内容になっております。是非ご利用ください。

株主優待商品	優待内容	方法
① GMOとくとくポイント	2,000ポイント	ポイント贈呈
② GMOクリック証券におけるGMOインターネット株式買付に係る買付手数料 対象期間:2011年7月1日～翌年3月31日	対象期間中の買付手数料相当額	GMOとくとくポイントもしくはキャッシュバックのいずれかの方法
③ GMOクリック証券における売戻手数料 対象期間:2011年7月1日～翌年3月31日 対象取引:現物取引、信用取引、夜間取引、先物・オプション取引、FXネオ取引、クリック365取引、eワラント取引に係る手数料等	5,000円を上限とした対象期間に生じた取引手数料相当額	GMOとくとくポイントもしくはキャッシュバックのいずれかの方法
④ GMOインターネットグループが提供する各種サービスのご利用料 対象期間:2011年10月1日～翌年3月31日 対象サービス:[ネット接続]GMOとくとくBB、interQ MEMBERS、ZERO、BEKKOAME//INTERNET [ドメイン取得]お名前.com [レンタルサーバー]お名前.com、レンタルサーバー.com、GMOアプリクラウド、まるごとサーバー、iSLE、RapidSite、ロリポップ! [ネットショップ開設]カラーミーショップ、MakeShop [電子認証サービス]GlobalSign [オリジナルグッズ販売]クマガイ☆スタイルSHOP	5,000円を上限とした対象期間に生じた利用料相当額	GMOとくとくポイント、月々の請求より値引き、キャッシュバックのいずれかの方法

※いずれも、GMOとくとくポイントはお買い物限定のポイントとなります。(1ポイント=1円相当)

### 株主優待のご案内

同封の「株主優待のご案内」に記載の内容をご覧ください。ご利用方法やお得なサービス等をご紹介します。優待IDは株主様毎の個別に発行されたものです。申請が完了するまで大切に保管してください。



▶優待申請をされる方で口座開設がお済みでない方はこちらよりご確認ください。

# 株式取引は、GMOクリック証券

2010年度  
ネット証券部門  
手数料満足度

2年  
連続

現物 現物取引

自社開発だから実現できる手数料

1約定ごとプラン

1日定額プラン

~20万円

105円

~20万円

230円

~100万円

525円

~100万円

860円

~300万円

1,050円

~300万円

1,660円

信用 信用取引

比べてください、自信の手数料

1約定ごと  
プラン

100円

しかも!  
驚きの

約定代金500万円超は  
手数料0円

制度信用買方金利  
2.3%



※ ネット証券満足度ランキング 2010,2011年度版 オリコン調べ

☎ 0120-727-930 携帯電話・PHSからは 03-6221-0190

営業時間 月曜日～金曜日 8:00～18:00

※ 国内外の休日・祝日に伴い営業時間が変更される場合があります。

GMOクリック証券株式会社 東京都渋谷区道玄坂1-10-8渋谷野村ビル関東財務局長(金商)第77号 加入協会:日本証券業協会、金融先物取引業協会(会員番号1124)、日本商品先物取引協会  
株価の下落により損失を被ることがあります。また、発行企業の経営・財務状況の悪化により損失を被ることがあります。なお、マザーズ(東京証券取引所)、JASDAQグロースの各上場銘柄は、既存市場の銘柄と比べ流動性が劣る場合があります。信用取引はお客様の投資した資金に比べて大きな利益が期待できる一方で、価格の変動が予想と異なった場合、損失も大きくなる恐れがあり、投資金額全額以上の損失が発生する恐れがございます。また、信用取引の売建は、予想と異なり株価が上がった場合、損失が無限に膨らむ可能性がございます。お客様が当社に預託する必要保証金の額は建玉総額×30%です。